

## Stock Information

(2012年3月31日)

### 株式の状況

発行可能株式総数	363,360株
発行済株式の総数	91,452株
株主数	2,366名
上場証券取引所	JASDAQスタンダード(コード番号: 3845)

※株主数には当社自己株式は含めておりません。

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
永田 万里子	25,233	27.59
株式会社エムワイエヌ	10,250	11.21
大阪証券金融株式会社	3,445	3.77
楽天証券株式会社	2,746	3.00
RIP1号R&D投資組合	2,400	2.62
個人	1,920	2.10

※当社自己株式として2,668株(発行済株式の2.91%)を保有しております。

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
配当金支払株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
お問い合わせ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 証券代行部 Tel: 0120-232-711 受付時間 土・日・祝日を除く9:00~17:00



#### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフリーク 東京支店 経営企画ユニットIR担当  
Tel: 03-6743-3002(平日9:30~18:30)  
Fax: 03-6743-3001

※メールでのお問い合わせは弊社コーポレートサイトの問い合わせフォーム  
(<http://www.i-freek.co.jp/contact/ir>)よりご連絡ください。

※各社の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。

## Corporate Data

(2012年3月31日)

### 会社概要

会社名	株式会社アイフリーク
設立	2000年6月
本社	〒810-0022 福岡県福岡市中央区薬院一丁目1番1号 薬院ビジネスガーデン9階 Tel: 092-738-3800 Fax: 092-738-3803

東京支店	赤坂オフィス 〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目17番22号 赤坂ツインタワー東館11階 Tel: 03-6743-3000 Fax: 03-6743-3001
------	--

	五反田オフィス 〒141-0031 東京都品川区西五反田三丁目7番14号 三信ビル4階 Tel: 03-5434-8301 Fax: 03-5434-8302
--	--

従業員数	128名(役員・従業員含む)
資本金	459,382千円
決算期	3月

### 役員

取締役会長	永田 万里子
代表取締役社長	伊藤 幸司
取締役	橋本 裕
取締役	谷内 進
監査役	光安 直樹 (公認会計士・税理士)
監査役	吉原 洋 (弁護士)
監査役	嶋崎 俊也

#### アイフリーク アジア パシフィックが事業を開始

当社の100%子会社I-FREEK ASIA PACIFIC PTE. LTD. (アイフリーク アジア パシフィック有限私会社、本社・シンガポール共和国)は、新たなスタッフの配置とともに、事務所を下記に移転いたしました。

新住所: 21 MCCALLUM STREET #36-01 THE CLIFT, SINGAPORE (069047)

#### 期末配当の実施について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識し、事業の継続的な成長に必要な内部留保拡充を勘案しながら、その時々での当社経営成績及び財務状況、それら見通しに応じた適切な利益還元策を実施することを基本方針としております。

当期末は同方針に則り、**1株当たり150円の普通配当を実施**いたします。これにより年間配当金は、中間配当(250円)と合わせて400円となります。



## 第12期 2012年3月期 報告書

2011.4.1 > 2012.3.31



株式会社アイフリーク

## To Our Shareholders



取締役会長

永田 万里子

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

発生から今なお大きく影響を及ぼす東日本大震災に加え、歴史的な長期的円高や原油価格高騰など、まだまだ景気動向は予断を許さない状況ではありますが、アイフリークでは今期、「種まき」に加え、まいた種の芽を育てる施策を行ってまいりました。

モバイルコンテンツ事業は、当社の強みであるデコメ®事業で「スグデコ!」等のスマートフォン向けサービスが着実に顧客基盤を増大させているとともに、位置情報サービス「cocoGe(ココゲー)」やデジタル絵本アプリ「こえほん」が着実にダウンロード数を伸ばしており、新たな収益基盤として売上高及び利益面への貢献が期待できます。

Eコマース事業では、Web&店頭の複合販売モデルと、多ジャンル商品を低コストで展開できるサービスモデルへの再構築が一定の成果を上げており、収益性及び商品回転率の改善が見込めます。

モバイル市場の概況は、依然として世界的にスマートフォンへの移行が進んでおりますが、群雄割拠のモバイル市場において、日本国内だけの成功にとどまらず、グローバルなサービスを創出していくことに注力し、引き続き事業を行ってまいります。株主の皆様には、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## Top message

### 当期のご報告

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

フィーチャーフォンからスマートフォンへ——。前期から続くこの変化は当期、さらに加速度を増しました。こちらに伴い、モバイルコンテンツビジネスでも変化が生じています。従来のモバイルキャリア主導型からコンテンツベンダー自らが顧客を獲得しなければならないビジネスモデルに変わってきたのです。その流れは、長期的に見て非常にチャンスであり、独自の収益基盤を構築する機会が訪れていると言えます。また、その流れを受けてソーシャルゲーム市場も拡大を続け、年率400~500%の伸びを示しています。当社はこうした動きをいち早く察知し、独自の顧客基盤の構築ならびに顧客獲得に力を入れてきました。

具体的に、ソフトバンクモバイルの公式メールアプリとして採用された「スグデコ!」は、すでに約80万人が利用しています。2012年2月にはiPhone向けにも独自メールアプリの提供を開始し、順次顧客基盤を拡大させております。また、スグデコ!から他社のデコメール®(デコメ)もシームレスに取り込み、デコメ市場のプラットフォームになっているサイト「デコストア」も立ち上げました。さらに、上記のようなスマートフォン向けデコメのアプリもNTTドコモのAndroid端末へ対応させております。このように、独自基盤である収益モデルに着手しております。

ソーシャルゲーム分野では、位置情報を利用したゲームプラットフォーム「ココ

ゲー」を提供しています。スマートフォンに搭載されたGPS機能を利用し、都道府県、市区町村などといったエリアを全国から選んで、エリア内にいる他のユーザーとゲームのスコアを競うことができるというものです。自社だけではなく他社のゲームアプリも取り込めるため、発展性のあるプラットフォームだと自負しています。このプラットフォームは現在のところ唯一当社だけが提供しており、すでに約10万人が利用しています。

電子アプリ絵本「こえほん」も累計で約30万ダウンロードを記録するヒットアプリになり、顧客獲得に成功しています。アーティストコラボレーションシリーズとして、PUFFYやトータス松本の描き下ろし絵本も用意しました。

コンテンツ素材数  
約**319,000**点

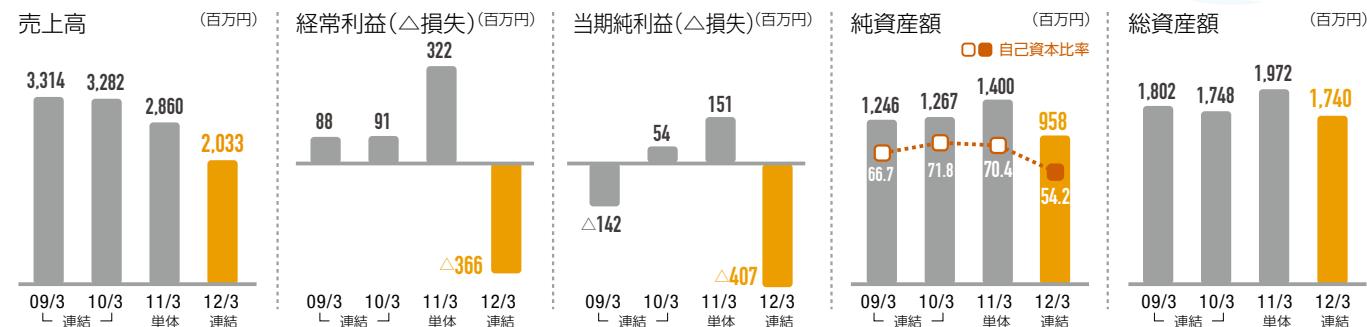
CREPOS会員数  
約**8,400**名

サービス利用数※  
約**6,980**千名  
※ダウンロード数含む

## 日々変化するモバイル市場で、未来に向けて夢のあるチャレンジを続けていきます



代表取締役社長  
伊藤 幸司



重点取組課題について

新たな市場へ積極的に投資

① 重点課題

スマートフォン市場での収益基盤の構築

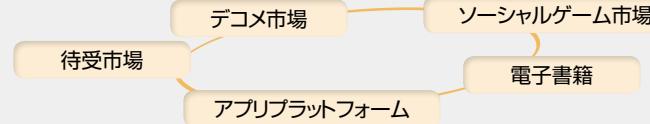
② 重点課題

プラットフォームビジネスへの転換

③ 重点課題

世界規模でのモバイルマーケットへの進出

「重点投資分野」



堅調なモバイルコンテンツ事業に対し、Eコマース事業は足踏みを続けました。BtoC向けの美容・健康商品において、薬事法及び景品表示法の規制が強化されたのが一因です。一部商品については、販売不振等を理由に廃棄するなど苦戦を強いられましたが、売り上げの減少と引き換えにリスクも軽減しました。ただ、スマートフォン市場において、簡単に商品を検索でき、購入できるEコ

マースは今後も成長する分野と捉え、独自基盤構築というモバイルコンテンツの方向性とシナジー効果も見込めるため、将来有望な事業領域です。次期は当社が得意とするBtoBに注力していく所存ですが、2~3年後に大きな収益を得るための準備を進めてまいります。

重点課題への取り組み

当期は重点課題を3つ掲げました。そ

れぞれについて、説明します。

①前述の通り、新たなサービスやプラットフォームを提供してきました。

スグデコ!については課題があります。その課題を早急に克服し、より便利なサービスにすることでユーザー数をさらに拡大させ、収益化を図っていきたくと考えております。

ココゲーでの収益源は現在のところ広告だけですが、ゲームのジャンル幅を広げ、課金コンテンツ等の収益化の可能性も模索しており、多様な収益化を図る方針です。また、これまでアプリは月間1タイトル作るのが精一杯でしたが、これを月間2~3タイトル作れる体制に整えました。さらに最近、ココゲーのAPI(Application Program Interface)を公開し、他社のアプリとも連携しやすくしました。アプリが増えることでトラフィックが増加し、広告媒体としての価

値も上がると考えています。

こえほんは、右肩上がりの成長を続けていますが、ジャンルを増やし、ファミリー層のコミュニケーションを活性化させるようなコンテンツの展開にチャレンジしていきます。こえほんはオリジナリティのあるサービスであり、世界市場に日本のクリエイティブコンテンツを展開することで世界のクリエイターとの連携及び新しいコミュニケーション基盤を構築することを目的としております。

②キャリア主導のビジネスモデルから脱却し、主軸となるスグデコ、ココゲー、こえほんを中心に、今後さらにコンテンツを充実させて自社で顧客を獲得するためのプラットフォーム構築を進めます。

③2011年5月、当社はシンガポールに海外子会社「I-FREEK ASIA PACIFIC PTE. LTD.」を設立し、12月から本格的に事業を開始しています。こちらでは、

先に述べた「こえほん」の英語版アプリ「PICVO」や、中国とのビジネス展開など、着々と芽を育てています。また、海外への投資活動も事業シナジーがある分野へ積極的に展開していく所存です。

業界のリーダーという意味では、こえほんは電子絵本でNo.1のダウンロード数を誇るアプリですし、ココゲーのプラットフォームは他社に先んじたビジネスモデルです。それぞれの強みや課題とともにKPI(重要業績評価指標)が明確になってきましたので、今後も全社を挙げて積極投資を推進していきます。

未来へ向けて

モバイル市場のパラダイムシフトは速く、当社の事業モデルも数ヶ月後には変革を求められるかもしれません。視界不良の中でのかじ取りは困難であり、この先1~2年は業績が足踏みする可能性も

否定できません。しかし、3~5年後には大きな収益を得る。今はそのための準備期間だと考えています。

モバイル市場は大きな成長余力を持っており、そのチャンスを秘めた市場にトライできることが当社スタッフのモチベーションを高めています。また、日本国内だけでなく海外で戦っていききたいという気勢も上がっています。

世界で勝負するには、基盤事業でしっかり業績を上げることも大事ですが、投資すべき局面もあります。次期は、当期と同様に投資フェーズを継続する一方、新たな収益の芽を生み出し、近い将来、急成長させたいと考えています。

当社はこれからもコミュニケーション分野を通してオンリーワンの企業を目指してまいります。引き続きご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

アーティスト・イラストレーターとのコラボ絵本続々「こえほん」が著名アーティストとコラボレーション

電子絵本アプリ「こえほん」は、アーティストとのコラボレーションシリーズとして、PUFFYやトータス松本のオリジナル絵本を皮切りに、さまざまなアーティストとの絵本配信をスタートしました。もちろん芸能人だけでなく、人気イラストレーターおかだ萌萌のオリジナルキャラクター「PUNNY&HAT」の絵本配信や、「ちびまる子ちゃん」でおなじみの大人気作家、さくらももこの絵本を複製配信するなど、バラエティ豊かなコンテンツを取り揃えています。



位置情報を用いた地域別ランキング機能搭載 独自のゲームプラットフォーム「ココゲー」を推進

当社が独自開発するスマートフォン向けプラットフォーム「ココゲー」の対応アプリを、約100万人のお客様にご利用いただいております。今年1月からは、新機能として位置情報に基づくスコアランキングの提供を開始しました。ランキングを細分化することで、日本一はもちろん「市区町村で1位」までをリアルタイムに表示します。身近なご自宅や学校だけではなく勤務先や旅行先でも、ランキングに参加し、アプリをお楽しみいただけます。



▲当社で発表している「ココゲー」と各種主要アプリ

## NTTドコモのスマホ向けサービス「デココレ」を開始 iPhoneアプリ「スグデコ! Mail」も登場!

NTTドコモのスマートフォン向けサービス「dメニュー」に、デコメ素材の販売サイト「デココレ」をオープンしました。デココレのデコメを検索して、まとめてダウンロードできるアプリ「デコサーチ」や、写真加工&デコレーションアプリ「フォトデコ!」もGoogle Playからリリース。また、テキスト・メールをワンタッチでデコメ付きメールに変換するAndroidアプリ「スグデコ!」が、SoftBank スマートフォンに続きNTTドコモのスマートフォンでも利用可能に。スグデコ!の利用者は80万人を突破しました。さらに2012年2月1日には、デコメを簡単に作成できる無料アプリ「スグデコ!Mail」をiPhone向けに提供開始。AndroidとiPhoneの両方でデコメを楽しめる環境が整いました。



▲ 約10万点から選べるデコメ素材



▲ 「スグデコ! Mail」の利用イメージ

▲ デコサーチ ▲ フォトデコ

## GREE、Mobageの2つのプラットフォームに対応 ソーシャルゲーム「AFTER FIRE」の提供開始

グリー株式会社が提供するソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)の「GREE」と株式会社DeNAが提供するSNSの「Mobage」上で遊ぶことができるソーシャルゲーム「AFTER FIRE」(フィーチャーフォン版)の提供を始めました。AFTER FIREはレーシングチーム運営シミュレーションゲームで、国内メーカー8社、30社を超える実在のチューニングパーツメーカー・ショップからライセンスを受けた全300車種の実在のマシンや80種を超える実在のチューニングパーツが登場し、数多くのお客様に楽しんでいただいております。



## 商流の川上から川下まで、Web&店舗の両軸拡大へ

当社では、美容健康分野から日常生活用品まで取り扱い範囲を順調に拡大するとともに、Eコマース系販路と店舗系販路の強化を進めました。また、薬事法や景品表示法に対応した販売ノウハウは、小売店舗だけでなく、大手メーカーからも「より安心して販売できる」とご好評をいただいております。今後は、原料・材料調達段階から商品企画へ関与した取り扱い商材の充実を進め、セールスプロモーションと一体化したスマートフォン対応のサービス展開を卸売りと小売の双方で拡充していきます。



# Financial Statements

## 貸借対照表

	(単位: 百万円)	
	当期(連結) 2012年3月31日現在	前期(単体) 2011年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	1,228	1,518
固定資産	512	454
有形固定資産	29	61
無形固定資産	222	144
投資その他の資産	260	249
<b>資産合計</b>	<b>1,740</b>	<b>1,972</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	532	430
固定負債	248	141
<b>負債合計</b>	<b>781</b>	<b>572</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	459	459
資本剰余金	452	449
利益剰余金	71	527
自己株式	△30	△46
<b>株主資本合計</b>	<b>952</b>	<b>1,389</b>
その他の包括利益累計額	△9	△1
新株予約権	15	12
<b>純資産合計</b>	<b>958</b>	<b>1,400</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>1,740</b>	<b>1,972</b>

※前期は単体での記載となっております。参考としてご確認下さい。

## 損益計算書

	(単位: 百万円)	
	当期(連結) 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期(単体) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	2,033	2,860
売上原価	1,291	1,444
売上総利益	741	1,415
販売費及び一般管理費	1,116	1,109
営業利益(△損失)	△374	306
営業外収益	15	19
営業外費用	6	3
経常利益(△損失)	△366	322
特別利益	—	1
特別損失	9	99
税金等調整前当期純利益(△損失)	△375	223
法人税等	31	71
当期純利益(△損失)	△407	151

## キャッシュ・フロー計算書

	(単位: 百万円)	
	当期(連結) 2011年4月1日から 2012年3月31日まで	前期(単体) 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△134	481
投資活動によるキャッシュ・フロー	△167	△91
財務活動によるキャッシュ・フロー	312	△24
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	—
現金及び現金同等物の増減額	7	365
現金及び現金同等物の期首残高	723	358
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>730</b>	<b>723</b>

## Oak キャピタル株式会社・デジタルポスト株式会社との事業提携および第三者割当による新株予約権の発行について

当社は2012年2月3日、Oak キャピタル株式会社及びデジタルポスト株式会社との間で、次世代デジタル郵便(ハイブリッド郵便)事業において、スマートフォンを活用したサービスプラットフォーム及びコンテンツの開発に関する分野での協力関係の構築に合意し、事業提携契約を締結いたしました。当事業は、スマートフォン等でメッセージ等を入力すればそれを手紙に送り先に届けることができるサービスで、Oak キャピタル社が事業プロジェクトとして企画立案、デジタルポスト社が経営母体となっています。なお事業提携に際し、当社の将来の発展のための研究開発資金を用途とする、Oak キャピタル社を割当先とする第三者割当による新株予約権を発行、総額約2億円の資金調達を行いました。

### ■新株予約権の発行概要

- ・新株予約権の総数: 220 個(新株予約権1個当たり65 株)
- ・新株予約権の目的となる株式: 普通株式 14,300 株
- ・新株予約権の発行価額の総額: 1,706,540 円(新株予約権1個当たり7,757 円)
- ・資金調達額: 201,906,540 円(差引手取概算額199,705,343 円)

## 役員報酬の減額について

通期連結業績予想及び個別業績予想の修正に影響のある商品評価損を計上するに至ったことを真摯に受けとめ、株主様はじめステークホルダーの皆様への責任の明確化を図るため、代表取締役社長の役員報酬減額を決定いたしました。2012年4月から3カ月間、月額報酬の10%を減額します。